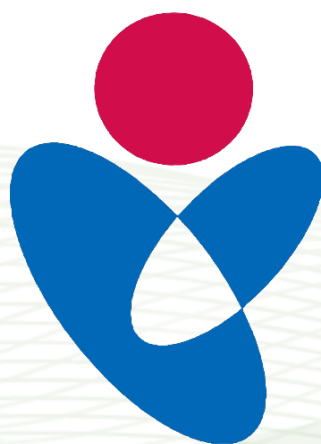


# 回復期リハビリテーション病棟 令和6年度 年報



令和6年4月～令和7年3月

公立八鹿病院 回復期リハビリテーション病棟

## 1.まえがき

令和6年度の統計をまとめ、報告させていただきます。この1年間も4月に新型コロナウイルス感染、12月にインフルエンザ感染でそれぞれほぼ1ヶ月間の病棟閉鎖となりました。入退院が滞りご迷惑をお掛けしました事をお詫び申し上げます。年間退院患者数はここ3年間では最多の250人でした。

回復期リハビリテーション病棟（回りハ病棟）の施設基準に関しては、実績指数が6月累計40を満たさず、7月より4か月間入院料2を算定する事態となりました。また、重症者割合6月累計40%を重視し過ぎると、重症者回復率や在宅復帰率に影響し、各パラメータのコントロールで苦心しております。

回りハ病棟の制度開始から25年が経過し、その間人口動態は大きく変化しました。2025年問題が現実のものとなり、さらに2040年に向けて85歳以上の高齢者層の増加と若年層の減少に拍車がかかります。その為、新たな地域医療構想がスタートしました。高齢者救急等の受け皿として2024年に地域包括医療病棟が新設され、回りハ病棟・地域包括ケア病棟と共に「回復期機能」に位置づけられました。今後、厚労省の方針では、「急性期機能」病床を減らし「回復期機能」病床を増やす方針のようです。

回りハ病棟の役目として、急性期病院・病棟あるいは地域包括医療病棟からの患者さんを早期に受け入れ、集中的なりハを高度なチーム医療で提供する事にあると思います。ご紹介宜しくお願い申し上げます。

回りハ病棟専任医 福森豊和

## 2.回復期リハビリテーション病棟の概要

- ① 病床数：50床
- ② 回復期リハビリテーション病棟入院料および加算等：  
入院料1
- ③ リハビリテーション施設基準：  
脳血管疾患等リハ1、運動器リハ1、廃用症候群リハ1  
呼吸器リハ1、心大血管リハ1
- ④ 日本医療機能評価機構認定：3rd G:Ver.3.0 副機能
- ⑤ スタッフ体制：令和7年7月1日時点  
リハ科医師数：脳血管疾患等3人（内、日本リハ医学会認定臨床医1人）  
整形外科3人  
療法士数：理学療法士9（1）人、作業療法士9人(1)  
言語療法士3人（カッコ内は産休・育休中）

## 3.患者属性

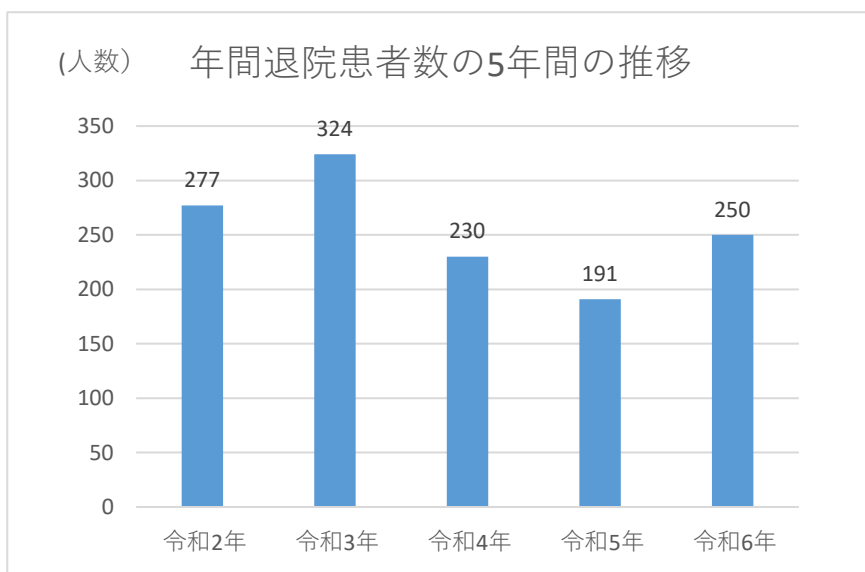
### ① 年間退院患者数

脳血管系	181人（男性 101人 女性 80人）	: 72.4%
整形外科系	63人（男性 19人 女性 44人）	: 25.2%
廃用	6人（男性 3人 女性 3人）	: 2.4%
総数	250人（男性 123人 女性 127人）	

（全国の統計では、疾患構成では「脳血管系」の割合が2001年度の70.8%から減少が続いており、2024年度は42.2%となっています。当院は当初の数字を維持しています。）

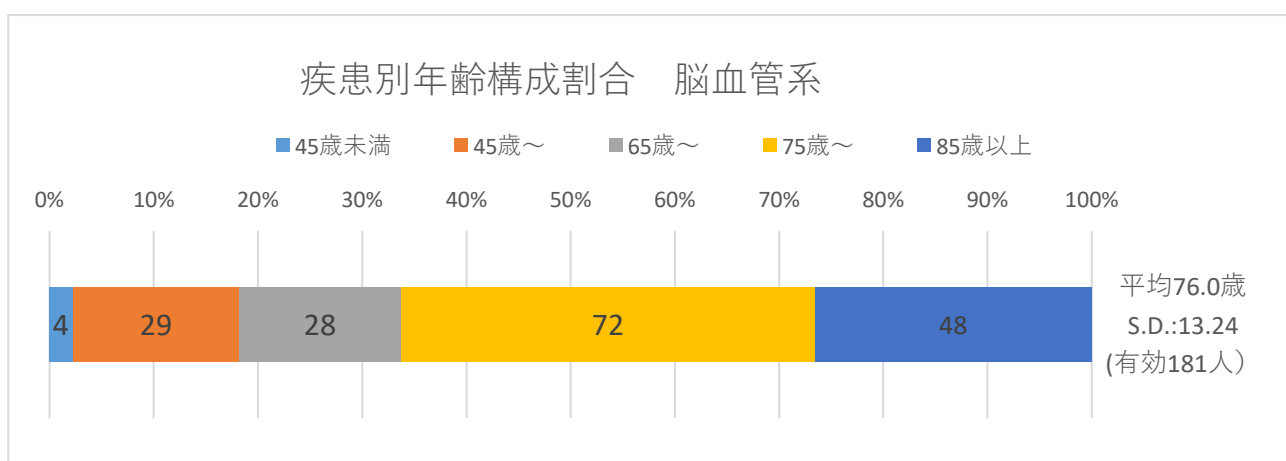
### ② 年間退院患者数（人）の5年間の推移

令和6年	250
令和5年	191
令和4年	230
令和3年	324
令和2年	277

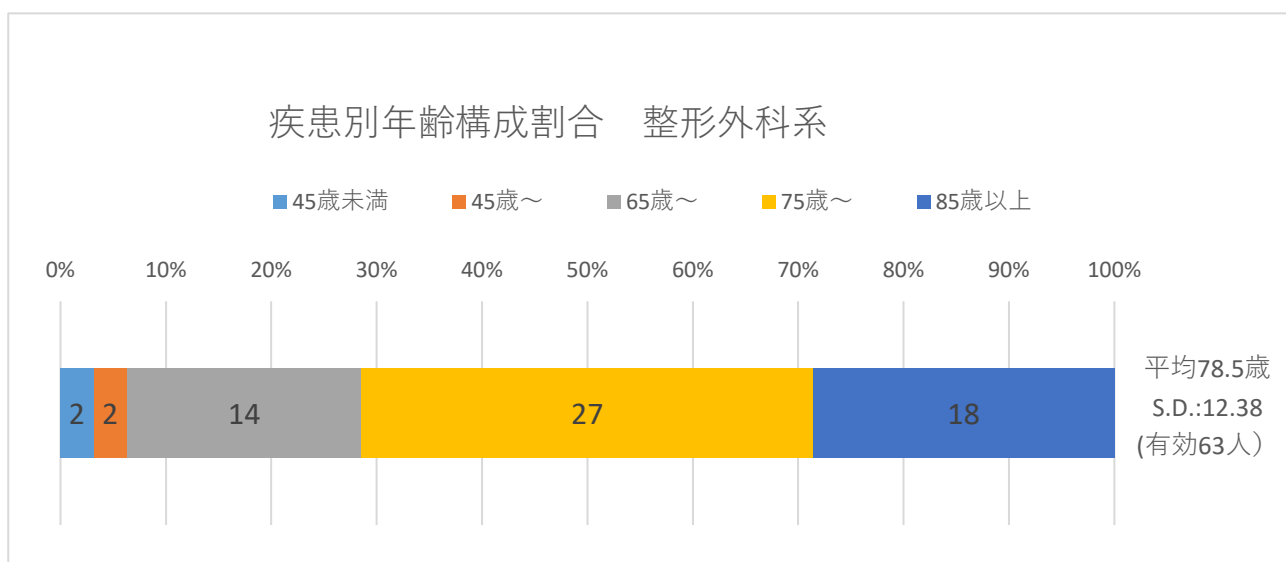


### ③ 疾患別年齢構成割合

#### 脳血管系

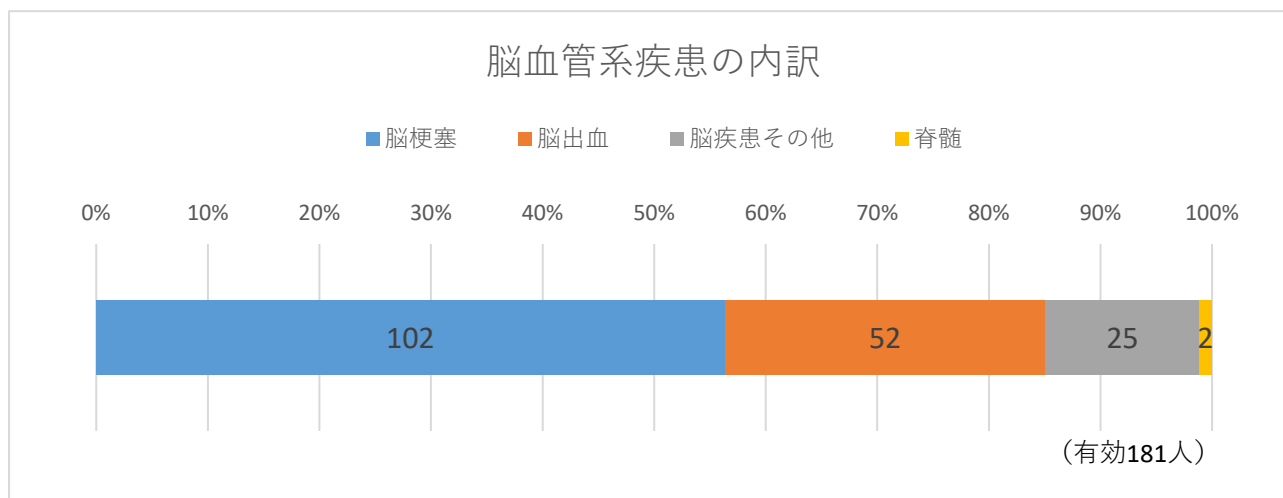


#### 整形外科系

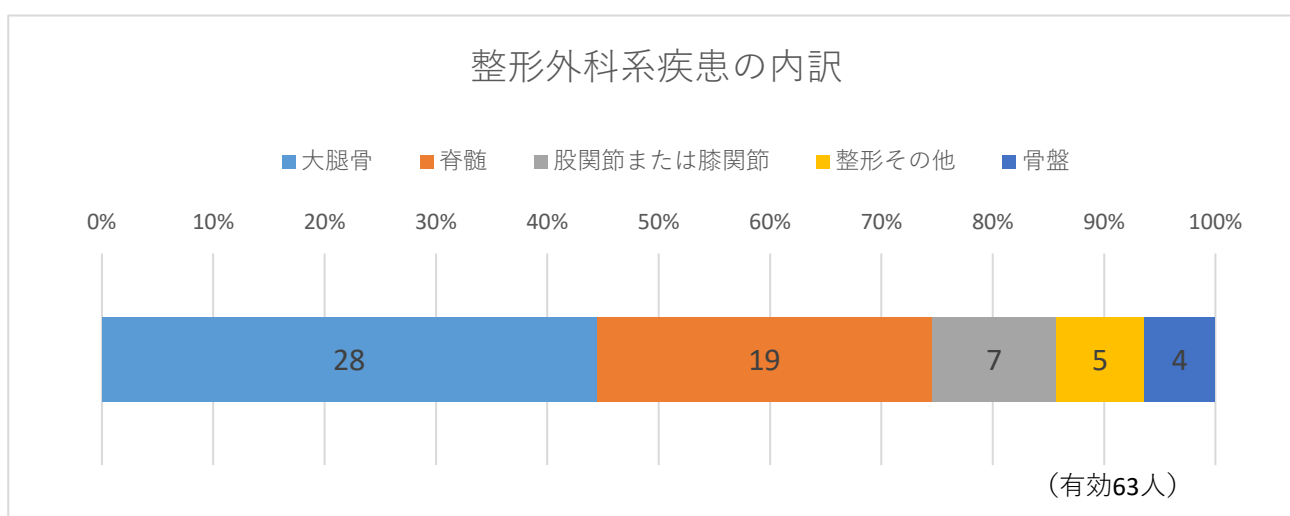


(全国統計では、「脳血管系」73.8歳、「整形外科系」80.2歳で、当院では前者でやや高く、後者でやや低い傾向でした。)

④ 脳血管系疾患の内訳



⑤ 整形外科系疾患の内訳



⑥ 発症から入棟までの期間

脳血管系：平均38.6日

整形外科系：平均32.7日

総計：平均37.4日

⑦ 入棟日数

脳血管系：平均72.8日

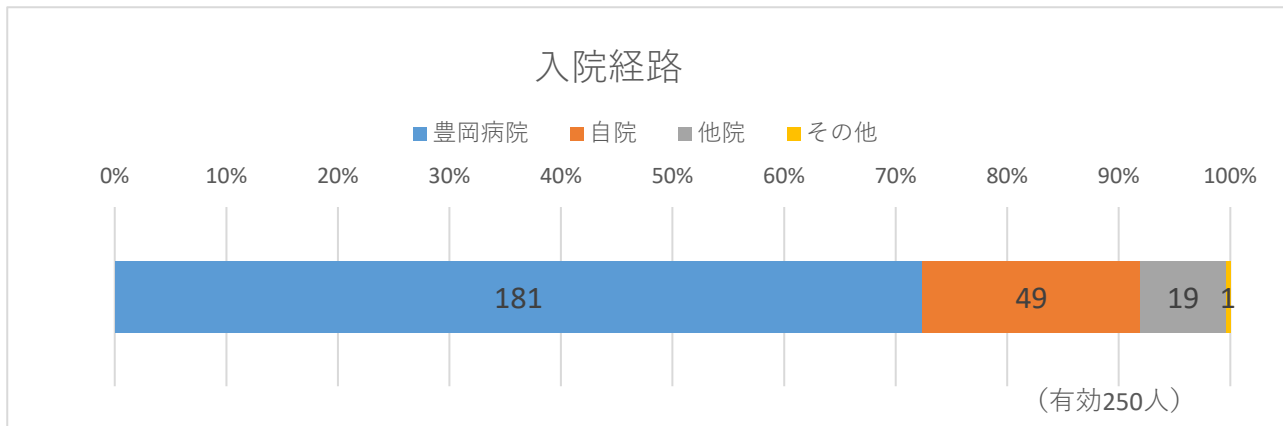
整形外科系：平均47.0日

総計：平均65.5日

(全国的には入棟日数は短縮傾向にあり、「脳血管系」で83.0日、「整形外科系」で55日前後で、当院ではどちらも1週間ほど短縮しています。)

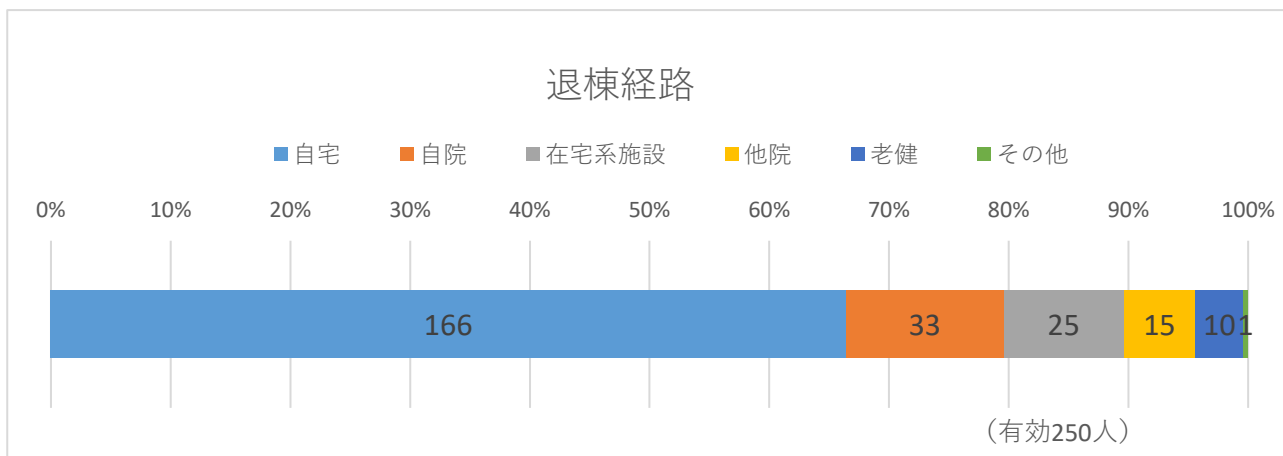
⑧ 入棟経路

自院、豊岡病院、他院、その他



⑨ 退棟経路

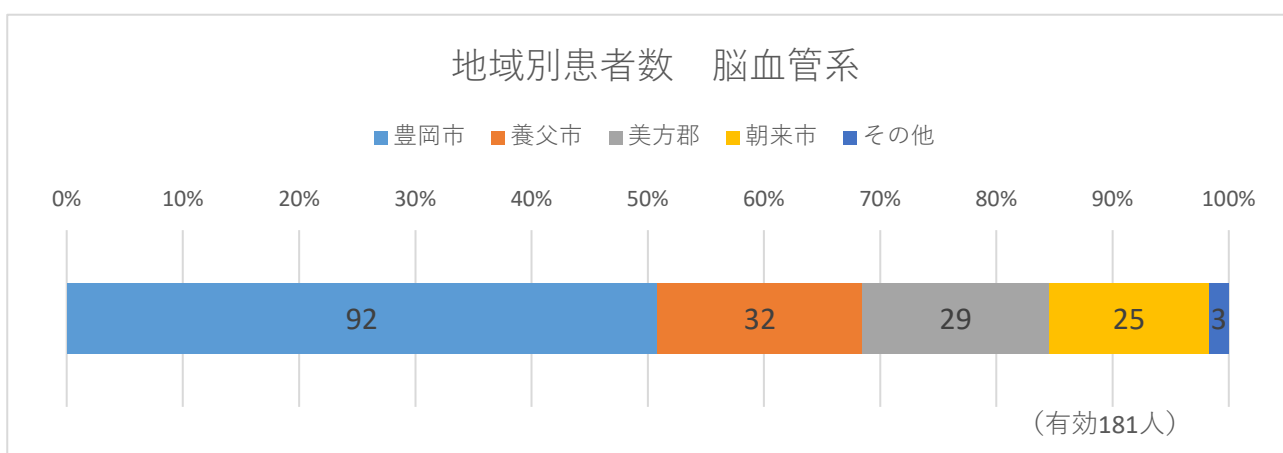
自宅、自院、他院、在宅系施設、老健施設、その他



⑩ 地域別患者数

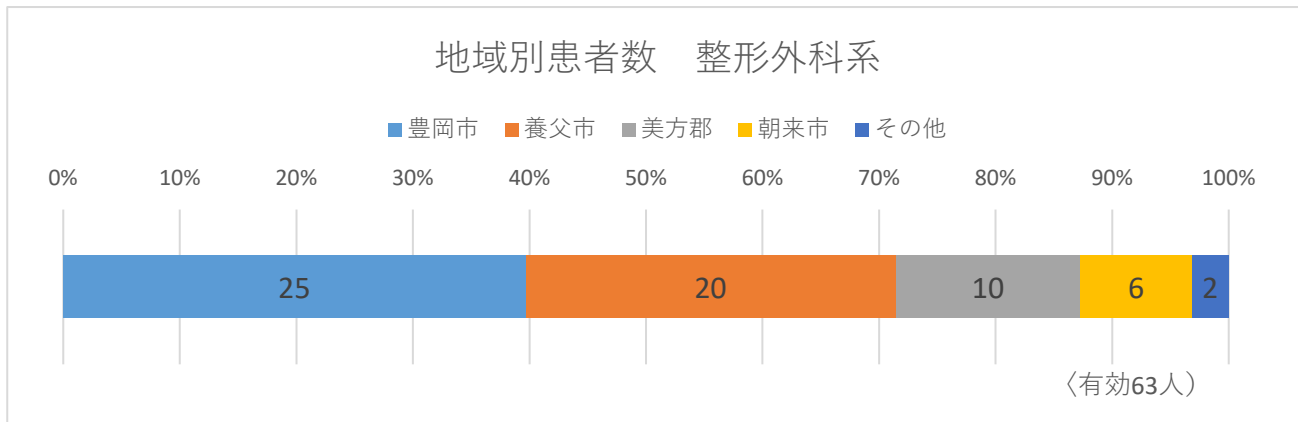
脳血管系

豊岡市92人、養父市32人、朝来市29人、美方郡25人、その他3人



整形外科系

豊岡市25人、養父市20人、美方郡10人、朝来市6人、その他2人



4.回復期リハビリテーション病棟の施設基準

① 重症割合 12か月の数字と平均値

	令和 6年 4月	令和 6年 5月	令和 6年 6月	令和 6年 7月	令和 6年 8月	令和 6年 9月	令和 6年 10月	令和 6年 11月	令和 6年 12月	令和 7年 1月	令和 7年 2月	令和 7年 3月
入棟患者数	17	18	18	22	16	21	24	26	25	19	22	23
重症者 (FIM55↓ 日常10点↑)	7	7	8	12	9	9	11	13	14	6	13	11
重症割合	41%	39%	44%	55%	56%	43%	46%	50%	56%	32%	59%	48%
重症割合 (6月累計) 40%以上	41.2%	42.0%	41.2%	41.0%	42.6%	46.4%	47.1%	48.8%	50.7%	47.3%	48.2%	48.9%

② 重症者回復率 12か月の数字と平均値

	令和 6年 4月	令和 6年 5月	令和 6年 6月	令和 6年 7月	令和 6年 8月	令和 6年 9月	令和 6年 10月	令和 6年 11月	令和 6年 12月	令和 7年 1月	令和 7年 2月	令和 7年 3月
退棟患者数	19	14	19	19	16	15	24	21	28	14	17	21
重症者 (FIM55 ↓ 日常10点 ↑)	6	4	4	3	6	8	14	5	7	4	8	10
16点or4点 以上改善	3	1	0	1	2	4	11	2	7	2	4	6
重症患者 回復率	50%	25%	0%	33%	33%	50%	79%	40%	100%	50%	50%	60%
重症患者 回復率 (6月累計) 30%以上	54.5%	52.9%	43.8%	38.7%	37.1%	35.5%	48.7%	50.0%	62.8%	63.6%	65.2%	66.7%

③ 在宅復帰率 12か月の数字と平均値

	令和 6年 4月	令和 6年 5月	令和 6年 6月	令和 6年 7月	令和 6年 8月	令和 6年 9月	令和 6年 10月	令和 6年 11月	令和 6年 12月	令和 7年 1月	令和 7年 2月	令和 7年 3月
自宅・施設	15	13	14	18	13	12	17	19	28	9	15	16
在宅復帰率	79%	93%	74%	95%	81%	80%	71%	90%	100%	64%	88%	76%
在宅復帰率 (6月累計) 70%以上	79.6%	80.2%	77.9%	80.6%	80.8%	83.3%	81.3%	81.6%	87.0%	83.1%	84.0%	83.2%

④ 実績指数

	令和 6年 4月	令和 6年 5月	令和 6年 6月	令和 6年 7月	令和 6年 8月	令和 6年 9月	令和 6年 10月	令和 6年 11月	令和 6年 12月	令和 7年 1月	令和 7年 2月	令和 7年 3月
退棟患者数	20	19	21	23	19	18	27	24	34	18	19	23
実績指数除外	8	7	6	2	8	3	8	8	4	6	8	6
FIM差	214	194	186	351	162	258	408	333	649	246	205	334
入院日数	6.267	4.04	6.423	8.642	3.428	6.069	7.63	5.547	9.464	4.7911	4.562	7.6
実績指数	34.1	48.0	29.0	40.6	47.3	42.5	53.5	60.0	68.6	51.3	44.9	43.9
実績指数 (6月累計 40以上)	41	40	36	37	37	39	43	45	53	56	55	55



5.リハ単位数とADLの利得

① 合計リハ単位数とADLの利得

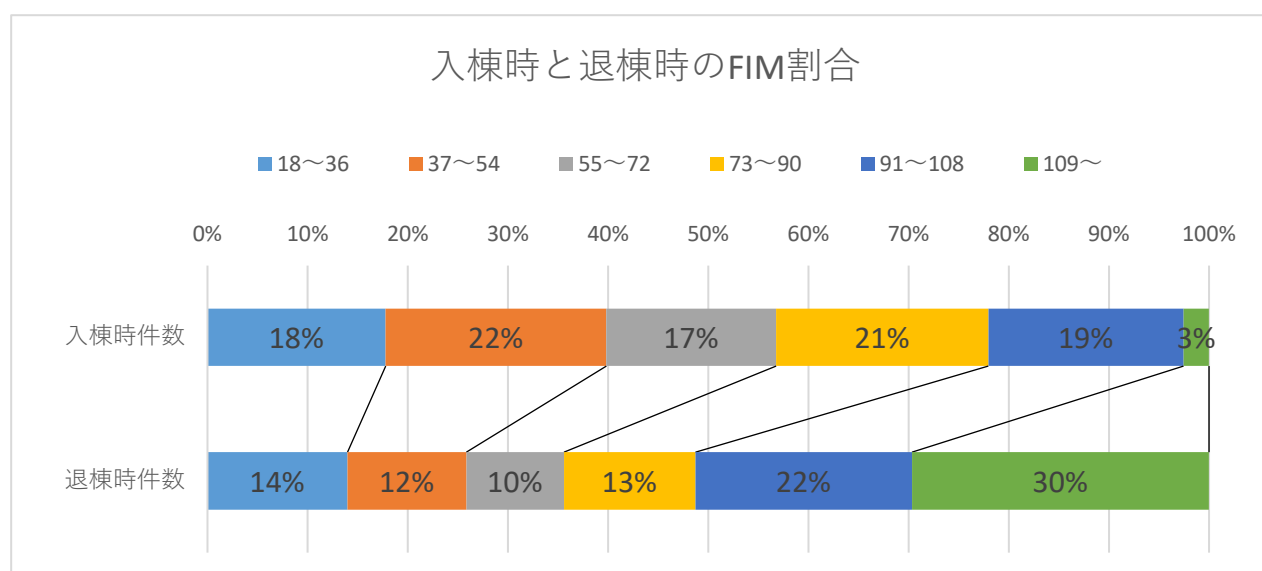
単位数	全退棟患者 FIM		脳血管系 FIM		整形外科系 FIM	
	患者 数	平均 利得	患者 数	平均 利得	患者 数	平均 利得
～99単位	<b>46</b>	13.9	<b>28</b>	12.6	<b>18</b>	15.9
100～199	<b>56</b>	18.6	<b>41</b>	19.1	<b>15</b>	17.1
200～299	<b>50</b>	18.8	<b>41</b>	17.0	<b>9</b>	27.0
300～399	<b>34</b>	14.6	<b>30</b>	12.5	<b>4</b>	30.0
400～499	<b>22</b>	18.5	<b>22</b>	18.5	<b>0</b>	0.0
500～599	<b>13</b>	23.3	<b>12</b>	23.3	<b>1</b>	23.0
600～699	<b>6</b>	18.8	<b>6</b>	18.8	<b>0</b>	0.0
700～799	<b>1</b>	50.0	<b>1</b>	50.0	<b>0</b>	0.0
800～899	<b>3</b>	25.0	<b>3</b>	25.0	<b>0</b>	0.0
900～999	<b>2</b>	53.0	<b>2</b>	53.0	<b>0</b>	0.0
1000～	<b>3</b>	45.0	<b>3</b>	45.0	<b>0</b>	0.0

(症例数が少なく綺麗な正の相関は見られませんが、量的効果はあります。

マンパワーが不足しており、療法士の募集に重点を置いています。)

② 入棟時と退棟時のFIM割合

時期	FIM点数						全件数	FIM平均
	18～36	37～54	55～72	73～90	91～108	109～		
入棟時件数	42	52	40	50	46	6	236	67.7
割合	17.8%	22.0%	16.9%	21.2%	19.5%	2.5%	100%	
退棟時件数	33	28	23	31	51	70	236	89.3
割合	14.0%	11.9%	9.7%	13.1%	21.6%	29.7%	100%	



(入棟・退棟時のFIM割合では、37～72の症例数の減少と109以上の増加が目立ちます。入院料1を算定している全国施設の入棟時の平均は64.1、退棟時89.6です。FIM利得は25.5で、当院では17.1と低値でした。「整形外科系」の症例割合が少ない事、年2回の病棟閉鎖やマンパワー不足などが影響していると思われます。)

参考文献：回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書

2025年2月 回復期リハビリテーション病棟協会